

平成26年度事業報告書
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人ヘルスアンドライツサポートうりずん（若夏）

I 事業の成果・方針

1. 介護サービスの外部評価に関する事業

調査員11名で28件の認知症対応型共同生活介護事業所（以下グループホーム）、7件の小規模多機能居宅介護事業所（以下小規模事業所）で外部評価を実施した。新規委託は、グループホーム1件が、初回の外部評価受審であった。34件の外部評価結果をワムネットに掲載したが、1件は4月中に掲載予定である。目標達成計画は10件が未提出でそのうちの6件は3月に外部評価が確定した事業所で、4件の内、小規模多機能事業所が2件である。

今年度は1事業所の管理者から、外部評価の意義や経緯等について説明を求められ、当該事業所にて説明した。

また、グループホームの家族アンケートでは、詳細な意見の提出があり、運営者や管理者への内容を踏まえた聞き取りを求められるケースもあった。他市の小規模事業者は、25名の登録利用者の16名から家族アンケートが返送されたが、12名は本人自らがアンケートに回答しており、ご本人からのアンケート結果になった。

<評価審査委員会>

平成27年3月に8事業所から訪問調査の依頼があったため、年度内に開催できず、平成26年度も昨年同様に、6月頃に開催予定であるが、今年度も評価審査委員会の開催をお願いするような事業所からの意見はなかった。

<調査員研修>

① 研修「排泄行動がもたらす認知症高齢者のBPSDへの影響」

平成26年9月27日13時30分～15時 18名参加

講師を評価審査員の福岡県立大学の棟直美先生に、又事例の提出等を笠松の郷の管理者中村さんにお願ひし、当法人会員（外部評価調査員含む）及び地域の37のグループホーム及び小規模事業所等に参加の案内をした。調査員7名（会員8名）、グループホーム職員9名、デイサービス職員1名、一般1名が参加した。研修後のアンケートでは、「BPSDの発生を防ぐヒントを理解した」、「良い便をつくるのが、排泄の異常行動の防止につながることを認識した」、「笠松の郷のお尻拭きの保温ジャーの話聞き、入居者の気持ち良い顔が目につかびました」等があった。

② 研修「認知症高齢者が地域で暮らすために～名古屋高裁判決を踏まえて～

私たちの地域で取り組むこと」平成27年1月12日 14名参加

平成26年度11月東京で開催された、2007年の愛知県の踏切内で起こした事故の多大な賠償金に関するシンポジウムに参加された調査員で坪根雅子さんに、講師をお願いした。坪根さんは、居宅介護支援事業等の運営者として、痛ましい事故を防ぐ手立てとして、専門職の気づきと記録の重要性について、話をしていただいた。研修後のアンケートでは、「介護現場の経験から学んだことを踏まえた話は興味深かった」、「新聞記事を読んで何か変だと思っていたが、詳しい説明でよくわかった。家族としての責任を痛感しました」等があった。

③ 公益社団法人福岡県介護福祉士会主催 「外部評価調査員スキルアップ研修」

平成27年3月27日 10名参加

NPO法人福岡県高齢者グループホーム協議会理事長で、グループホームふぁみりえの管理者で

ある大谷るみ子さんは、ふぁみりえの実情や大牟田市の取り組みを通じて地域密着型サービスの特徴や、パーソンセンタードケアの視点から評価項目である理念に基づく運営、身体拘束をしないケア、権利擁護、人権教育や啓発について話された。最後に認知症の人の心理的ニーズに基づくケアを説明され、介護の現場が、認知症の人の主人公になれる支援や地域生活を可能とする社会的基盤の整備を勧めようと言われた。

平成 27 年度は介護保険法の改正により、小規模多機能事業における外部評価は、運営推進会議のメンバーと一緒にいき、結果を利用者や家族に提供するとともに、HP 等で公表することとなった。グループホームの外部評価は従来どおりであるため、外部機関として初心に帰り、今後も内外の研修等に参加しながら研鑽に努め、事業所の自己評価の補完となるべく、さらなる地域密着型サービスの発展に寄与する予定である。

2. 介護保険オンブズパーソン事業は今年度の実施はない。
3. 介護サービスに関する相談・研修会開催事業
今年度も他市社会福祉法人から、介護福祉士国家試験支援セミナー開催について問い合わせがあったが、セミナーの内容の了解は得られず、開催していない。
4. 介護サービスに関する調査研究事業は今年度の実施はない。
5. 介護予防に関する講習事業は今年度の実施はない。
6. 介護予防に関する調査研究事業は今年度の実施はない。
7. 保健や福祉及び介護情報や知識に関する出版物の発行事業
今年度は、うりずん通信は発行していない。ホームページには、平成 25 年度事業報告や活動計算書、外部評価事業の実績や収支決算書、貸借対照表を掲載した。
8. 男女共同参画社会促進に関する相談・講習事業
今年度から、直方市男女共同参画夢ネットに団体会員として加入し、直方市男女共同参画夢ネットが直方市から受託した第 18 回のおがた男女共同参画フェスタに、救護班として 1 名の会員が参加した。
9. 子どもの健全育成に関する相談・支援事業は、本年度の実施はない。
10. 介護保険法に基づく指定市町村事務受託法人事業
平成 26 年度も直方市から介護保険認定調査の委託を受け、7 月には飯塚市との契約を取り交わした。直方市 309 件、飯塚市 67 件、北九州市 5 件、福岡市 2 件八代市及び福津市 1 件の 385 件を受託し、4 名の調査員で実施した。調査内容については、各保険者の担当者から、随時ヒアリングを受けた。
福岡県主催の平成 26 年度認定調査員研修（基本編：平成 27 年 1 月 13 日 2 名、応用編：1 月 19 日 2 名）に参加した。認定調査の重要性や意義を理解しながら、今後も研修等で調査のスキルアップに努める予定である。

II 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額千円
1. 介護サービス外部評価に関する事業	地域密着型サービス外部評価事業	平成26年4月～平成27年3月	福岡県	11人	地域密着型サービス事業所35ヶ所	2,957
2. 介護保険オンブズパーソン事業		実施なし				
3. 介護サービスに関する相談・研修会開催事業		実施なし				
4. 介護サービスに関する調査研究事業		実施なし				
5. 介護予防に関する講習事業	認知症予防・介護予防講座	実施なし				
6. 介護予防に関する調査研究事業	介護予防事業の推進に関する調査研究事業	実施なし				
7. 保健や福祉及び介護情報や知識に関する出版物の発行事業	「うりずん通信」の発行 ホームページの更新	実施なし 随時（外部評価事業経費に計上）		1人		5
8. 男女共同参画社会促進に関する相談・講習事業	直方市男女共同参画「夢ネット」団体加入		直方市	1人		7
9. 子どもの健全育成に関する相談・支援	子育て支援に関する講座	実施なし				
10. 指定市町村事務受託法人事業	介護保険要介護認定調査	平成26年4月～平成27年3月	直方市及び飯塚市等	4人	介護給付新規及び更新申請者385名	2,176